

報道用資料
PRESS ONLY

おおぞら高校

広域通信制・単位制高校

屋久島おおぞら高等学校

サポート校

おおぞら高等学院

学校法人KTC学園
2024年5月



なりたい大人になるための学校®

おおぞら高校

学校法人 KTC 学園

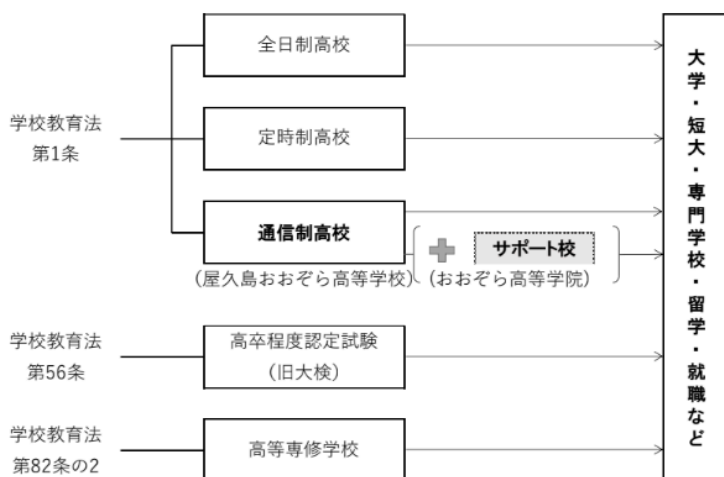
屋久島おおぞら高等学校

設立: 2005(平成17)年4月
所在地: 鹿児島県熊毛郡屋久島町平内34-2
校長: 茂木健一郎(もぎけんいちろう)
設置過程: 通信生・単位制
生徒数: 12,385名(2024年5月現在)

学校法人 KTC 学園

おおぞら高等学院

設立: 2002(平成14)年4月
所在地: 愛知県名古屋市中村区椿町12-7
学院長: 小林英仁(こばやしひでひと)
拠点: 国内46キャンパス



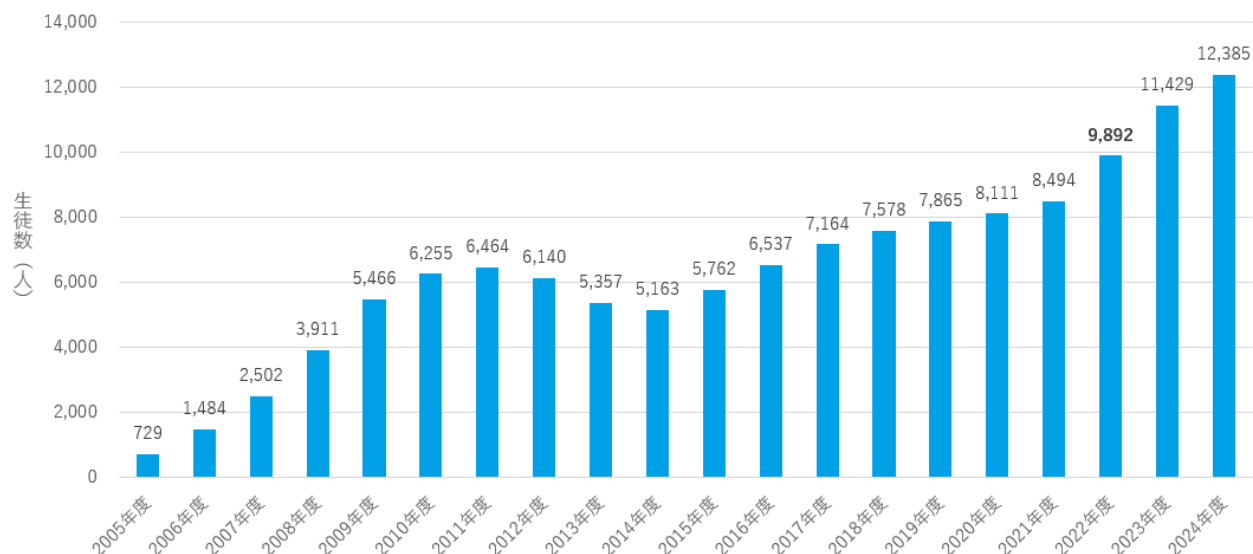
【通信制高校の役割】

高等学校には、全日制、定時制、通信制という3つの課程があり、どの過程においても「3年以上高校に在籍すること」「74単位以上修得すること」「学校行事に決められた回数参加すること」をもって高校卒業資格を得ることができます。通信制高校では、単位習得にかかる時間が流動的にできる利点を活かし、特色ある教育内容を実現できます。多くの生徒が通う全日制普通科高校に代わる選択肢として、近年通信制高校を選択する生徒が増加しています。明確な夢に向かって専門的なことを学びたい人、スポーツに専念したい人などが在籍しているケースが少なくありません。最近では「通信制」でありながら通学型コースを用意するなど、様々な学びのニーズにこたえる学校も増えてきています。

【サポート校の役割】

通信制高校は自学自習を基本とし、3年以上の年月をかけて課程を修業します。ただし自由に学習を進められる一方で、日々の通学や学校生活がありません。サポート校とは、通信制高校に在籍する生徒に対して、単位取得・進級などに必要とされる支援を行う民間の教育施設です。サポート校の運営は教育関連の民間企業や学校法人が行っているため、専門知識や技術を高校生のときから身につけるためのコースが設置されているところ、大学進学に力を入れているところなど、それぞれに運営母体の強みを生かした特色があり、近年活用が活発になっています。生徒の多くは「学校に通いたい」「先生やクラスメイトと学生生活を送りたい」と願っており、通信制高校との連携、協力が進んでいます。

【おおぞら在籍生徒数推移】



【通信制高校数及び生徒数】

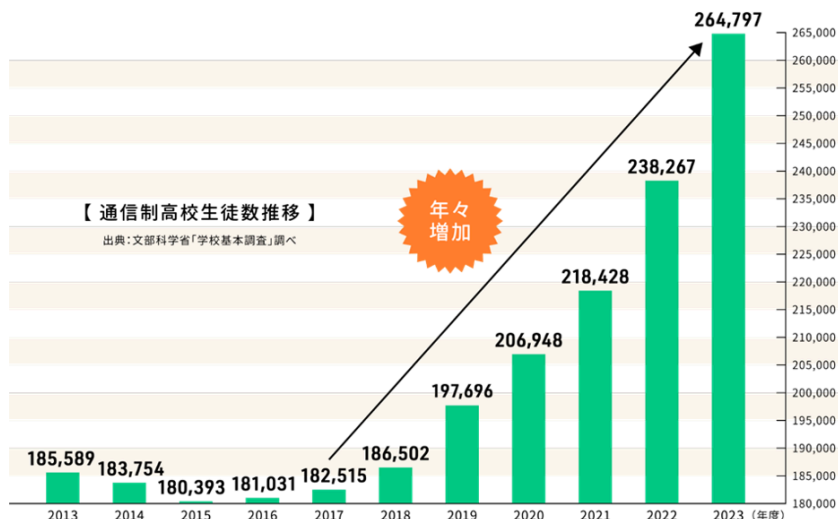
令和3年度(2021年度)の通信制高校の数は260校で、前年より7校増加。
令和5年度(2023年度)生徒数は前年度よりも3万人増え、約26万人に迫る。
通信制高校の生徒数は全高校生の約12人に1人にのぼるとされる。

高等学校(全日／通信制)の推移



【通信制高校生徒数推移】

出典: 文部科学省「学校基本調査」調べ



【沿革】

※定員は、学校を認可した都道府県で(私学審議会の諮問の上)知事により認められた収容生徒数

2002(平成14)年	通信制高校のサポート校として、KTC中央高等学院開校
2005(平成17)年	4月世界自然遺産の屋久島に学校法人KTC学園 屋久島おおぞら高等学校開校(定員2,000名)
2007(平成19)年	10月鹿児島県議会で屋久島おおぞら高等学校が「屋久島の地域活性化に大きく貢献」と取り上げられる 定員4,000名認可
2008(平成20)年	定員7,000名認可
2009(平成21)年	屋久島おおぞら高等学校を題材したドラマ「いのちの島」(TBS系列全国ネット)放映
2010(平成22)年	定員10,000名認可 海外直営キャンパスをカナダのバンクーバーに開校。 キャリア教育プログラム「ドリームクラフト」(現「社会の架け橋プログラム®」)をスタート
2012(平成24)年	卒業生累計1万名超 「KTCけん玉夢基金」が目標額の200万円に到達し、モザンビーク共和国大使館へ小学校建設費用として寄付
2013(平成25)年	3月スクーリング参加者累計が3万名を超える 4月『茂木健一郎 特別授業』開催 10月『茂木健一郎先生×木村秋則先生 特別授業』開催
2014(平成26)年	11月「おおぞら校歌プロジェクト」スタート
2015(平成27)年	生徒による作詞、茂木健一郎先生作詞監修、WASABI作曲による「おおぞら校歌」が完成 スクーリング参加者累計が4万名を超える
2016(平成28)年	1月『茂木健一郎先生 特別授業』を開催 開校10周年記念セレモニー開催
2018(平成30)年	サポート校をKTCおおぞら高等学院へ名称変更
2019(平成31)年	卒業生累計が3万名を超える
2019(令和1)年	卒業生による成人式開催
2020(令和2)年	開校15年記念卒業式
2021(令和3)年	茂木健一郎校長就任 卒業生が累計4万名を超える
2022(令和4)年	定員15,000名認可 サポート校をおおぞら高等学院へ名称変更
2023(令和5)年	屋久島本校の新校舎を建築家・隈研吾氏が設計することが決定 2025年秋竣工、2025年度中に完成予定 学校法人KTC学園と三重県多気郡大台町が新規設置計画に関わる基本合意を締結 みえ大台おおぞら高等学校(仮称)2026年4月開校予定

【脳科学者 茂木健一郎が2021年4月1日より新校長に就任】



校長就任のご挨拶

2013年春、屋久島で初めて特別授業を行ったのをきっかけに、8年間に渡って屋久島おおぞら高等学校との関わりは続いております。
これまで多くのおおぞら生たちと触れ合ってきました。
屋久島一周ツアーや古代米の田植え、「奇跡のリンゴ」著者木村秋則さんとの特別授業。その中でも何より思い出深いのは2015年冬に同校生徒たちと共に校歌を作詞したことです。有志の生徒たちが互いに意見を出し合い、認め合いながら母校の校歌をつくりました。その校歌を生徒たちと一緒に歌う立場になりました。

人工知能やグローバル化などで変わりゆく世界で、屋久島おおぞら高等学校の生徒さんたちが自分の脳のすばらしい可能性をのばして学びを深めるお手伝いができると思います。一人ひとりの個性を活かし、他者とのかわりの中でお互いに響き合うために、一緒に学んでいきましょう。とても楽しみです！

<校長プロフィール>

茂木 健一郎(もぎ けんいちろう)

1962年東京生まれ。脳科学者。ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。東京大学理学部、法学部を卒業後、東京大学大学院理学系研究科物理学専攻課程を修了、理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。「クオリア(意識のなかで立ち上がる、数量化できない微妙な質感)」をキーワードとして、脳と心との関係を探求し続けている。『脳と妄想』(2004年、新潮社)で小林秀雄賞を、『今、ここからすべての場所へ』(2009年、筑摩書房)で桑原武夫学芸賞を受賞。

<就任までの経緯>

2013年「茂木健一郎 特別授業」初開催

2014年「おおぞら校歌プロジェクト」スタート

2016年 茂木先生の「屋久島おおぞら教室」

2017年特別授業屋久島一周コース

校長としての活動

<茂木校長の #なりたい大人 白熱授業 開催>

脳科学者である茂木校長とおおぞら高校生や卒業生の対談を全国の中高生に向けてオンラインで授業の配信を行っています。キャンパスに通うおおぞら高校生とオンラインでつなぎ、本音で話してくれる

校長に生徒たちもとても喜んでます。<https://www.ohzora.ac.jp/principal/seminar.php>

<なりたい大人作文コンクール 特別審査員>

2019年よりおおぞら高校で主催している「全国おおぞら中学生 なりたい大人作文コンクール」の特別審査員を校長就任後の第3回から努めていただいています。

2021年 SDGs AICHI EXPO '21 登壇

2022年～屋久島卒業式登壇

2022年 近畿大学訪問

2024年 山岳部保全募金のため、屋久島町訪問

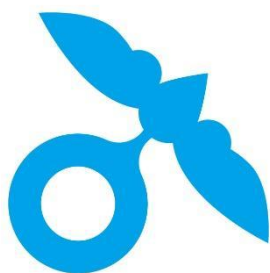


【おおぞら高校が大切にしている価値観】

なりたい大人になるための学校®

2018年に学校ブランドの再定義プロジェクトを実施しました。生徒、卒業生、保護者、職員、取引先等へのアンケートを実施しました。その結果、「なりたい大人になるための学校®。」という「合い言葉」をデザイン設計し、現在も展開中です。

【シンボルマーク】



シンボルマークはおおぞら高校屋久島本校の校舎を模しています。校舎はおおぞらへ羽ばたく鳥を表しており、その姿はこれから社会に旅立つ生徒を表しています。

【おおぞら高校の特長】

<マイコーチ®>

学校が生徒の担任を決めるのではなく、生徒自身が自分の担任の先生を選ぶことができます。

生徒と1対1の関わりを大切に、一緒に日々伴走をしながら生徒の「なりたい大人」をサポートしていきます。

<KTCみらいノート®>

おおぞら高校の生徒全員が持っている「みらいノート®」は、日々の「好き」を集め、深めていくことができるノート。日々学校生活でもマイコーチ®のサポートを受けながら書き込むことで、生徒の生きていく上での価値観や大切にしたいことをより明確にしていきます。

<屋久島スクーリング>

おおぞら高校の本校は世界自然遺産に登録されている屋久島にあり、生徒は1年に1度1週間程度、屋久島スクーリングに参加します。その場所でしか出会えない全国から集まった生徒や屋久島での時間を支える先生、そして自然と向き合うことで、今までの自分とは違う自分を発見し、直観力や共感力を育みます。

スクーリングの内容

実習(グループワークなど)、自然体験学習(海・山・川など屋久島の自然を活かした野外活動)

屋久島スクーリングの評価と分析
についてはこちら→



【学科】

おおぞら高校には二つの学科があります。



みらい学科™【通学】

＜みらいの架け橋レッスン®＞

生徒の「好き」を見つけ、増やすことができる様々な分野の実体験型レッスン。

＜社会の架け橋プログラム®＞

自分の「好き」を通して様々な分野で活躍する大人の話を聞き、時には現場での体験、地域活動への参加など、実際に社会とつながる経験をしながら生徒の「好き」を社会につなげていきます。

＜世界への架け橋プログラム＞

おおぞら高校に在籍をしながら1週間から最大22週間まで海外体験ができるプログラム。

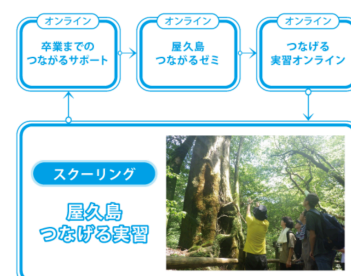
つながる学科【通信】

＜屋久島つながるゼミ＞

リアルタイムで屋久島とつなぎ、「世界自然遺産の島での自然の共生」など屋久島に関わるテーマについて、現場の取材をもとに学びます。

＜つながる実習オンライン＞

「屋久島つながるゼミ」で学んだことについて、一緒にリアルタイムで取材や調査を行い、先生や他の仲間とのディスカッションを通して全国の生徒と交流をします。



【屋久島みらいへのバトンプロジェクト】

おおぞら高校は現役在学生在が10,000人を超え、多くの生徒がスクーリングで屋久島を訪れています。
日常生活では感じることのできない屋久島固有の気候や風土は、訪れる人の五感に働きかけ、自分を見つめなおし人や自然とのつながりを学ぶ機会を提供してくれます。それは自然とのふれあいだけでなく、全国の生徒が屋久島という場で出会い、感覚や感動を共有しあえるからこそその体験です。

これまで屋久島本校やセンバスビレッジでさまざまな体験を通じた教育を実践してきましたが、学校という空間だけでなくこの屋久島そのものが学び舎であると考え発足したのが「屋久島みらいへのバトンプロジェクト」です。



新校舎のイメージ図

＜隈研吾設計 新校舎建設＞

隈研吾氏が手掛けます。屋久島本校のある平内地区は屋久島の南部に位置しており、新校舎は現校舎と宿泊棟の更に南、太平洋とモッチョム岳が見渡せる場所に建設されます。

※新校舎は2025年秋竣工、2025年度中にオープン予定

設計者を選定するにあたりおおぞら高校が大切にしていたポイントは以下の3つです。

1. 屋久島の場所性を大切にし、ここでしかできない特別な体験を提供すること
2. 校舎に子どもたちへのメッセージを込め、それを社会に向けて発信できること
3. 日本国内だけでなく、世界への発信力を持っていること

この3つに当てはまり、またご自身の設計思想が私たちが期待する新校舎のビジョンと重なるものと確信し、実績及び発信力については言うまでもなく申し分ない方ですので、屋久島でのスクーリングという子どもたちにとって一緒にのたからものになる体験を提供するための校舎を、ぜひ隈研吾氏に設計していただきたいと考え、設計を依頼しました。



2023年6月 茂木校長が隈研吾氏の事務所を訪れ対談をする様子

【プレス一覧】

2023年2月 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の途上国支援「世界寺子屋運動」贈呈式

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20230221-160000.php>

2023年4月 おおぞらカレッジと近畿大学九州短期大学通信教育部保育科が提携開始

<https://newscast.jp/news/5572180>

2023年6月 建建築家・隈研吾氏と茂木健一郎校長対談 屋久島新校舎設計キックオフ

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20230529-170000.php>

(※校舎完成 2025年度中予定)

2024年3月 生徒が「ヘルプマークの実用化」を目指し、厚木市福祉局に提案(厚木キャンパス)

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20240313-110000.php>

2024年4月 佐賀キャンパスの生徒が開発した「佐賀牛肉まん」がふるさと納税の返礼品に選ばれる

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20240418-130000.php>

2024年4月 官公庁から「付加価値の高い教育プログラム」として採択

<https://www.ktc-school.com/news/topics/20240412-143000.php>

【登録商標一覧】

なりたい大人になるための学校®。

マイコーチ®

KTCみらいノート®

みらいノート®

みらいの架け橋レッスン®

社会の架け橋プログラム®

つながる場所、つなげる場所。なりたい大人になるために®。

つながる場所、つなげる場所®。

※メディア掲載の際は上記を参考に表記をお願いいたします。

【キャンパス一覧】

全国46キャンパス

【東北】仙台・郡山

【関東・甲信越】宇都宮・高崎・春日部・川越・大宮・柏・千葉・東京秋葉原・東京・立川・町田・溝の口・横浜・湘南・厚木・新潟・松本

【東海・北陸】静岡・浜松・岡崎・名古屋・三重四日市・岐阜

【近畿】・滋賀・京都・梅田・大阪東・堺・神戸・姫路

【中国・四国】岡山・倉敷・福山・広島・高松・松山

【九州・沖縄】小倉・福山・九大学研都市・久留米・佐賀・熊本

【本校】屋久島おおぞら高等学校(〒891-4406 鹿児島県熊毛郡屋久島町平内34-2)



なりたい大人になるための学校。[®]
おおぞら高校

学校法人 KTC 学園

屋久島おおぞら高等学校

学校法人 KTC 学園

おおぞら高等学院

本資料は、報道関係の皆様のご取材の便宜を図る目的で作成されております。
資料についてのご質問、お問い合わせは下記まで。

学校法人KTC学園 広報

東京) 東京都新宿区西新宿8-13-6 日東ビル別館 1F (〒160-0023)

TEL: 03-3367-5066

URL: <https://www.ohzora.net/>

屋久島本校に関する問い合わせ先

e-mail: pr@ohzora.ac.jp

サポートキャンパスに関する問い合わせ先

e-mail: pr@ktc-school.com